

Real WorldにおけるDES

2005年8月25日(木) 14:00~15:30
長良川国際会議場 第2会場(大会議室)

【座長】

野坂 秀行 先生(社会保険小倉記念病院)

堀内 賢二 先生(済生会熊本病院)

【演者/演題】

横井 宏佳 先生(社会保険小倉記念病院)

「Lessons Learned from Real World
TAXUS Registries」

(ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社)

Rosli Mohd Ali, M.D.

(National Heart Institute, Kuala Lumpur, Malaysia)

「Endeavor II Clinical Trial Result」

(日本メトロニクス株式会社)

伊藤 一貴 先生(医療法人財団康生会 武田病院)

「DES時代の小血管治療戦略
—MULTI-LINK PIXEL Registry Update—」

(日本ガイダント株式会社)

上妻 謙 先生(帝京大学医学部附属病院)

「Matsuri-J試験中間報告
—DES時代におけるBMSの成績と役割—」

(テルモ株式会社)

小谷 順一 先生(関西労災病院)

「Cypher Stent Post Marketing Study
~年次報告より~」

(ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)



会長：曾根 孝仁(大垣市民病院循環器科)
会期：2005年8月25日(木)~27日(土)
会場：長良川国際会議場(ルネッサンス岐阜ホテル)
〒502-0817岐阜市長良福光2695-2
TEL 058-296-1200 FAX 058-296-1210



プログラムのご案内

演題募集も無事終了いたしました。この間JACCT事務局はもとより関係各位には多大なご尽力を賜り、まことに有難うございました。おかげをもちまして今回は2日間のPCIライブデモンストレーションに加えメディカル288題、コメディカル88題の発表が予定されています。皆様の熱意を無駄にすることなく、本会がより意義深いものとなるようプログラムを作成いたしました。不慣れなうえ、地方での開催ということで行き届きな面も多いかと存じますが、ご容赦のほどよろしくお願ひ申し上げます。以下に今回のプログラムの概要と、その見所の一部を紹介させていただきます。

今回のメインテーマは、本邦におけるDES初年度の経験を共有しあう意味からも「Real WorldのDES」といたしました。抗血小板薬の問題は積み残されたままですが、それをあざ笑うがごとく、この一年でDESは急速に浸透いたしました。J-Cypher registryを始め様々な観点からの報告が各セッションで予定されています。この点については本会でじっくり聴講いただき、その動向を肌で感じ取っていただきたいと思っております。DES挿入に際しての各種テクニック、IVUSやDebulkingの有効性、DES再狭窄のメカニズムについては国内外の経験豊富な講師によるUpdate講演を企画いたしました。PCIライブデモともどもお楽しみ下さい。

DESが如何に進歩しようと、冠動脈バイパス術が不要になるとは考えられません。しかしながら適応病態はもとより、その教育体系をも含めた変化が起きつつあることは事実です。学会最終日の午後には予定されているパネルディスカッションでは、上田教授(名大胸部外科)のお世話のもと、当世を代表する冠動脈外科医にご参集いただきます。内科側コメンテーターをまじえ、今後の虚血性心臓病治療につき怠惰のない意見が繰り広げられることを期待しています。学会参加者がそろそろ家路につく頃かと心配しておりますが、多忙な心臓科医に呼びかけるにはこの時間帯である必要があったことをご理解ください。また、本誌の特別インタビューが、本会での会場でもご覧いただけます。PCIライブデモも、ぜひお見逃しなく。

第5回日本心血管カテーテル治療学会学術集会
会長 曾根孝仁(大垣市民病院)

What's News!

- 2005.09.22 Call for Cases 優秀演題を掲載しました。
- 2005.08.11 プログラムを更新しました。
- 2005.08.10 交通アクセスを更新しました。シャトルバスのご案内を掲載しました。
- 2005.08.08 日程表を更新しました。

第5回学術集会事務局

〒503-8502 岐阜県大垣市南郷町4-86
大垣市民病院循環器科 坪井英之(医師)、奥村恭己(コメディカル)
TEL: 0584-81-3341 FAX: 0584-75-5715
E-mail: jacct5-office@umin.ac.jp